



平成 20 年 10 月 23 日

各 位

上場会社名 日本特殊陶業株式会社
 代表者 代表取締役社長 加藤 倫朗
 (コード番号 5334)
 問合せ先責任者 経理部長 堀田 泰彦
 (TEL 052-872-5918)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 9 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 20 年 5 月 9 日発表)	167,000	9,600	10,000	5,500	25.24
今回修正予想 (B)	172,600	6,600	7,300	4,000	18.28
増減額 (B-A)	5,600	△3,000	△2,700	△1,500	——
増減率 (%)	3.4	△31.3	△27.0	△27.3	——
(ご参考) 前年中間期実績 (平成 20 年 3 月期中間期)	167,583	22,744	23,842	14,935	67.75

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 20 年 5 月 9 日発表)	139,000	100	1,700	900	4.13
今回修正予想 (B)	143,500	△2,860	△340	△170	△0.79
増減額 (B-A)	4,500	△2,960	△2,040	△1,070	——
増減率 (%)	3.2	-	-	-	——
(ご参考) 前年中間期実績 (平成 20 年 3 月期中間期)	143,331	16,785	18,009	11,511	52.22

修正の理由

自動車用部品については、主として新車販売市場の減速を受けて組付用の出荷が目標を下回って推移する中、補修用プラグの堅調な需要が計画を補いましたが、貴金属材料をはじめとした原材料価格の上昇が想定以上に原価を押し上げました。一方、半導体用部品については、計画を上回る受注となり、新規生産拠点での量産を進めたものの、品質面での安定化に遅れが生じたため、多大な追加コストが発生することとなりました。その結果、利益面において当初計画を下回る見込みとなりましたので上記の通り修正いたします。

なお、平成 21 年 3 月期通期の業績予想につきましては、現在、精査中であり、平成 20 年 10 月 30 日に公表予定の四半期決算短信にて開示いたします。

(業績予想に関する記述等に関する注記)

これらの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上